

まちづくりミーティング開催結果概要



開催テーマ 桐生版スモールビジネスサタデーのさらなる発展・充実について

参加者

桐生商店連盟協同組合 9名

桐生市長

傍聴者 1名

報道機関 2名

日時：令和5年10月5日（木）午後5時57分～午後6時58分

場所：桐生市保健福祉会館 5階 503会議室

1 開会

2 あいさつ

3 議題

桐生版スモールビジネスサタデーのさらなる発展・充実について

意見交換のポイント

- 令和5年度の「100円商店街in桐生（桐生版スモールビジネスサタデー）」の実施内容について
- 商業の活性化やまちなかのにぎわい創出のため、桐生市と共創したいこと 等

4 閉会

令和5年度「桐パイ」イベントポイントキャンペーン

11/4(土)
11時～17時

概要

市内の中小商店で**1,000円以上**の買い物をされた方に
商店街のイベント会場内に設置する専用ブースで
桐パイポイント 2,000ポイントをプレゼント（※お一人様1回限り）



目的

- 当日開催されるイベント集客への波及効果増進
- 「桐生版スモールビジネスサタデー」の実現の後押し

| 項目 | 内容 |
|-----------|--|
| ポイント発行総額 | 2,000ポイント×先着4,000人（総額800万円分。先着順でプレゼント） （※R4：1,500ポイント×先着3,000人【実績1,814人】） |
| ポイント利用可能店 | 桐パイ加盟店（大型店除く）※カード会員は一部利用できないお店があります。 |
| イベント参加資格 | 大型店を除く市内商店（桐パイ加盟店でなくても可）で 1,000円以上買い物 をし、専用ブースでレシート等を提示した方 （※R4：500円以上の買い物） |
| お渡しする方法 | ①アプリ会員：利用者自らのアプリでポイント取得用のQRコードを読み取りポイントを取得 ②カード会員：職員がタブレットにて専用カードのQRコードを読み取りポイントを付与 |

※ポイント使用期限：イベント翌日<11月5日(日)>の23時59分まで



イベント会場内の専用ブース一覧

桐生版スモール・ビジネス・サタデー
×
桐生市電子地域通賞



専用ブース

コミュニティホール トボス（本町三丁目）

ギャラリー禅林（本町四丁目）

シルクル桐生（本町五丁目）

浄運寺前駐車場（本町六丁目）

雷電神社（錦町）

ドン・キホーテ桐生店（末広町）



（市長）
本日は開催テーマを
「桐生版スモールビジネ
スサタデーのさらなる発
展・充実について」とし
皆さんのご意見を伺い、
共に考え、新たな取組を
創造してまいります。

意見交換のポイント
● 令和5年度の「100
円商店街in桐生（桐生
版スモールビジネスサタ
デー）」の実施内容につ
いて
● 商業の活性化やまちな
かのにぎわい創出のため
桐生市と共創したいこと
等にさせていただきます。

まずは、昨年度も「1
00円商店街」とのコラ
ボイイベントとして実施し
た令和5年度の「桐ペ
イイベントポイント」につ
いて、説明させていただきます。



（市長より令和5年度の『桐
パイ』イベントポイントキャン
ペーン』について説明）
※資料参照

物価高に負けない！ 皆様に笑顔を！！

100円商店街 in 桐生

2022年 11月5日(土)

10時～17時 開催

会場：錦町～本町三丁目
及び東広町の商店街各店

桐生商店連盟協同組合

令和5年10月5日(木) 18時 まちづくりミーティング資料



【2022年】
100円商店街 in 桐生
参加店舗
アンケート結果

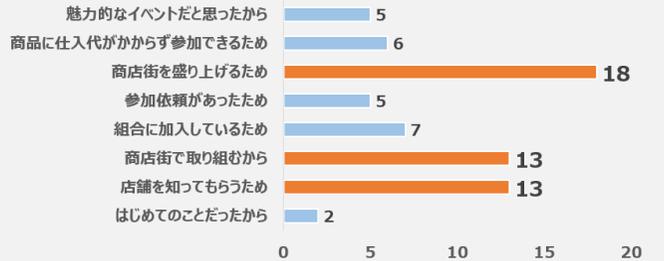
桐生商店連盟協同組合

(市長)
「次に、「100円商店街」について、昨年参加されたお客さんの声を改めて確認させていただきたいため、参加者アンケートの結果を交えながら、今年の実施に向けた意気込みや商業活性化のための展望などの全体的な話をお願いしたい。」



Q1：何が決め手で100円商店街 in 桐生に参加しましたか。

「商店街を盛り上げるため」の回答がもっとも多く、次いで「商店街で取り組むから」と「店舗を知ってもらうため」の回答が多い。



Q2：100円商店街 in 桐生に参加し、良かったこと

「商店街がにぎわいお客様に喜んでいただけた」の回答がもっとも多く、次いで「店舗を認知していただけたこと」の回答が多い。



(今川理事長より令和4年度の100円商店街のアンケート結果などについて説明)
※資料参照

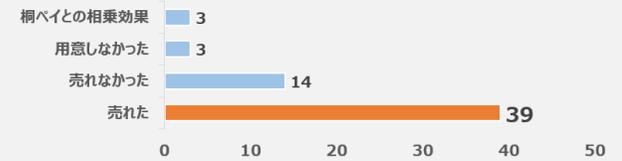


(市長)
この桐生版スモールビジネスサ
タデーの目的としては、地元
の商店街で買い物をするとい
う周知し、商店街の賑わいに
うというのであるが、昨年度
めての開催ということになり
目的達成とか完成形のイベン
とするというのでは無理な
昨年開催した中で課題など
受け、今回、新たなことも含
どのように取り組んでいき
かについて、皆さんより話を
たい。

Q 3 : 100円商品以外の商品 (サービス) は売れましたか。

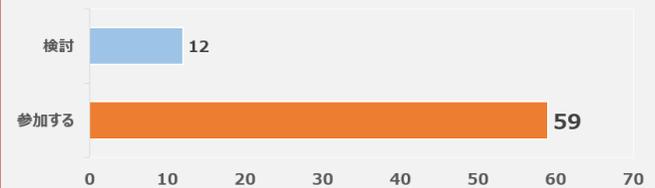
「売れた」の回答がもっとも多い。

※ 「全部売れた」との補記が多かったことから、設問主旨の読み違いがあったことが考えられる。



Q 4 : 次回開催が決定したら参加しますか。

「参加する」の回答が多い。



Q 5 : その他、なにかございますか。

回答数 : 計36件

イベントに対する肯定的な意見 : 5件

- ・たくさんの方が桐生の商店街に来てくれてびっくりした。これからは色々なイベントに参加したい
- ・組合からの補助がありがたかった など

イベントに対する否定的な意見 : 4件

- ・100円商品を買うと走って次の店に行ってしまうのでこの企画の意味が分からない
- ・集客に繋がらない など

課題・改善に関する意見 : 27件

【100円商品に関連する意見 : 12件】

- ・100円商品に関してもっとユニークなものを考えたいと思う
- ・500円のものも出せると参加店が増えると思う
- ・100円商品の販売時間は各店舗の営業開始時間にしたい方がよい。仕込み時間に来店されると支障がある
- ・100円のお客様が多いため、店舗内のお客様との対応が難しかった など

【イベント企画・運営に関連する意見 : 11件】

- ・子供に訴求力のあるイベントや商品構成を考えていく必要あり
- ・ただ100円の商品を売っても人は集まらない。なにか催事をするか今回のようなポイント付与するなど市に協力してもらいたい
- ・食事ができるところがほしい
- ・午後に来店された方は何も買わず残念そうだった など

【お米の販売に関連する意見 : 4件】

- ・米はすぐに売り切れてしまったので、店ごとに時間帯をずらして販売するのよい
- ・米の人氣で混乱を招いたように感じた。 など



前回の教訓を生かした 新たな取組について



(意見)
イベントとして1000円商品より多くの目的をもって販売するため、本三商店街は飲食店が多いため、弁当や総菜などの食品を多く販売し、各店舗で野菜を1000円で約500個用意したり、お祭りの形として、販売店で子ども向けチケットを無料で配布し、スーパーポールすくいも行いたい。また、前回、市外から来たお客さんの意見で他のまちに比べ雑草が多いという話

(市長)
環境に関することや食をテーマにした開催など、前回の教訓を生かし、新たに具体的な取組を考えていただきたい。
が多くあったため、10月29日に本町通りの植樹帯の清掃を行って花も植え、きれいな街でお客様をお迎えしたいと考えている。その他、商店街では、桐生が日本一暑いまちになったこともあるため、町内のイベントで何か利用できないかということも考えている。今年度は、まずは街を清潔にし、訪れた方とコミュニケーションを取りながら多くのものを販売していきたい。

(意見)
昨年度第1回目ということでは、1000円の商品を仕入れて準備させていた。本来、自店舗の商品を販売できればよいのだが、薬局や接骨院については、どのように商品を出すのか課題もあったが皆工夫して考えていただいている。また、東和銀行や桐信などもあり、当日金融の相談等してみたらどうかとも考えており、モノを販売するだけではなく情報を発信する機会として位置付けることも有益ではないかと考えている。街のお店が先生となり、街の人に色々なことを伝え、コミュニケーションをとることで、それぞれの店にファンができるのではないかと考える。

モノの販売以外での コミュニケーションについて



(市長)
商店連盟が一つになったよ
うな感じがして非常に嬉しく
思う。



開催日程・空き店舗活用支援等について



(意見)

昨年度の100円商店街の開催については、色々とし掛けをしたが、中央商店街は高額なものを取り扱っているお店が多く、100円のものはないということに参加店を集めるのが非常に難しかった。そこで、各店舗に100円のお米を置いてもらい1kgを500名分(1店舗約40名分)を準備したところ、即売してしまった。このような内容であると本来の趣旨とは異なるということ、今年度については、各商店において100円の商品を準備していただくよう声掛けをしている。昨年度の状況でいうと、100円のものを目掛けてくる方は、100円のものしか購入せず、店をすぐ出て行ってしまったり、客層が異なることが多かったことから、この取組によりリピーターとなってくれるかという点も難しいものと考えられる。今年度については、桐ペイが1000円購入者にポイント付与ということ、それにならない、1000円以上購入した方へ5kgのお米を1000円で販売するというようにしていきたい。また、日法に触れないように考えていきたい。また、日程については、土曜日ということ、骨董市・買場紗綾市などがあり、日が被ってしまいお客が分散してしまう可能性もあるので、今後、別日にすることも検討すべきではないかと考えている。その他、本町4丁目には組合がなく、イベントに参加できておらず、組合がなくとも錦町については参加しているため、4丁目も参加できるように声掛けすれば本町通りが全て繋がった形で開催できるように良いと考えている。100円商店街以外の件では、10月7日に空き店舗見学が行われるということであるが、空き店舗については老朽化が問題となっており、長く空き店舗となっているインフラの改修が高額であり、大手資本が入る場合は良いが、個人経営となると良い場所があっても資金繰りで難しいため、市の支援があると良い。

(意見)

昨年度第1回目ということ、昨年度の目標としては、賑わい創出とSDGsという観点から、地産地消で新里産のコシヒカリを用意させていただき実施したが、目標については達成できたと思う。アンケートの中でも批判的な意見で新規な顧客については得られなかったという意見が多かったが、トライ&エラーで1年やってみてこれだけお客が来るということが分かったので、今年度は、このイベントでお米が完売すると最低でも商店街に100万円の売上が確立するという成果が出て、私たちのやる気にも変わっていくと思うため、変則ではあるが、まずはチャレンジさせていただきたいと考えている。その他、中央商店街では、街中にフラッグがつけられるので、広告という形で何店舗かに掲げていただくよう声掛けをしており、夏祭り前から取り組んでいるが、普及させていければと考えている。

(市長)

課題を捉え前向きに取り組んでいこうというお話をいただき大変感謝する。



(市長)

100円商店街については、日程・日常の来客・4丁目商店街への声掛けについては、検討の関係につき、空き店舗の定期的な課題と捉えて、今後調整させていただきます。



トライ&エラーで新たなチャレンジ



(意見)

は、昨年度の反省点については、本六商店街で19店舗が参加したものの、参加店舗が実際100円の商品で何を出したら良いか分からないという意見が多かった。また、商店街が隅にあるのでお客が流れてくるか不安であったため、音を出して呼び込むということとなり、和太鼓やお笑いライブやジャズを行った結果、お客が流れてきた。本六商店街では、花や黒保根の野菜を準備し、各店舗で统一的に販売したが、即完売し、他に100円を出せるものがないという話が多く出た。今回については、昨年度同様に参加案内を出し、最初は13店舗程度であったが、昨年度より多い20店舗の参加を予定しており、内容についてもグレードアップしようと考えている。統一販売品として、桐生雑草クラブの提供により各店舗にて野菜の販売も予定している。音の件では、和太鼓についても考えている。昨年度の印象としては、お客さんが非常に楽しんでおり、売っている側も楽しみながら行っていたため、今年には販売時間も長く続けよう。商品数など工夫をしたいと考えている。

(市長)

色々と工夫をして取り組んでいただいている。感謝する。

販売時間を長くさせる工夫について



集客方法について



(意見)

昨年度は商品がすぐ終了してしまった。人が集まれば売れるということは分かっていたので、少しでも売り上げがあがれば良い。ただし、人を集めるためにはライブなど色々なやり方と普通のことで人は集まらない。そのため、新聞に掲載され、人が集まるような企画を考えたい。

(市長)

メディアの皆さんにも協力をお願いしていきたい。





長い目で見た商店街の 賑わい創出の可能性について

(意見)
桐生については競争するからこそ盛り上がる街だと思っている。同じことをしてもだめで、新しい意見や新しい企画を各商店街が考え、最終的には達成感があり、結果として商店街が一丸となったというところは、とても良かったと考える。参加店やイベントも増え、我々商店街がやってよかったですと思えるイベントになるよう取り組みたい。

(市長)
創意工夫という点で前年の課題から、商品が長く販売できるように創意工夫をすることがありがたい。

(意見)
昨年度の結果とすると、まず、未広町はテナントが多く、何をやらせたら良いのかというのを去年は状況をみていた店舗も増えた。今年度は店舗が増え、今年度は各店舗で野菜を販売することを考えており、なるべく時間が長くもつように各店舗にお願いしているところである。また、昨年度の状況をみてみると、商品がなくなっても人は14〜15時まで回遊していたため、個々のお店の売り上げの把握は正直難しいが、商店街の賑わいの創出という点ではかなり人は出ているので長い目で考えると評価できると思う。

商店街が一丸となったイベントの開催について

(市長)
是非商店街を盛り上げていただきたい。最後に、今川理事長に総括をお願いしたい。



